

こおりやま広域連携中枢都市圏 災害発生時の相互（対口）支援



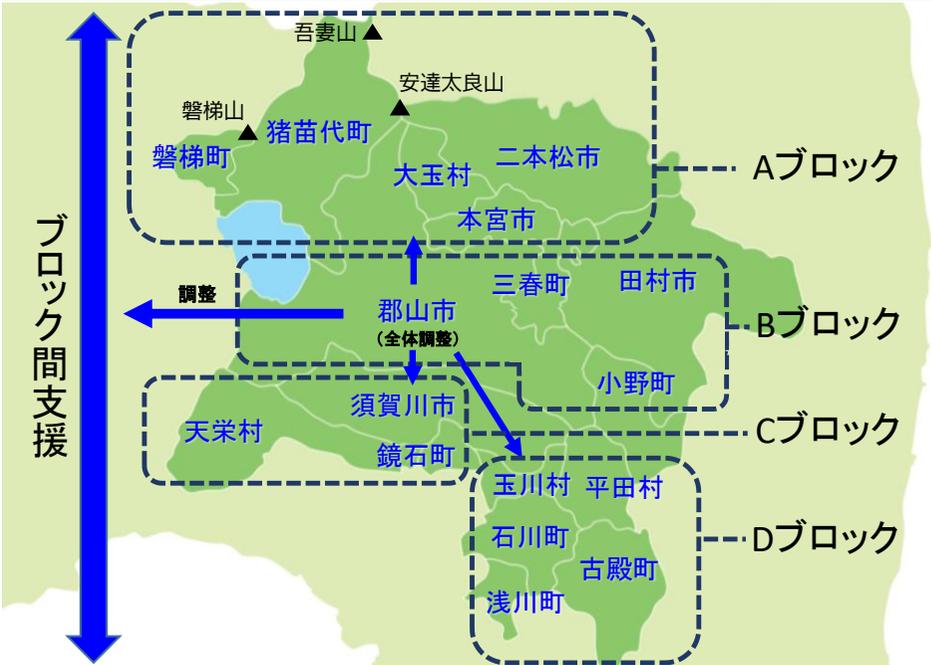
【目的】 総務省の対口支援の補完

◇地理的に隣接する強みを生かし先行して迅速かつきめ細かな支援を行う体制を構築

◇災害発生時、被災市町村の要請により対口支援ブロックを基本に、構成市町村内での職員派遣

1. 対口支援ブロック

ブロック名	構成市町村（★…ブロック内外調整担当）
Aブロック	★二本松市・本宮市・大玉村・磐梯町・猪苗代町
Bブロック	★郡山市・田村市・三春町・小野町
Cブロック	★須賀川市・鏡石町・天栄村
Dブロック	★石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町



2. 災害種別の支援体制

No	災害種別	支援体制
1	水害・土砂災害 (河川洪水・ゲリラ豪雨等)	基本ブロック内での対口支援
2	火山噴火	安達太良山 状況に応じて各ブロックから支援
		磐梯山 郡山市が率先的に受入・支援 必要に応じて各ブロックからの支援を行う。
3	感染症対策 (新型インフルエンザ等感染症)	基本ブロック内での対口支援 ※県中・県北・会津の各保健所管内での相互支援を補完する。
4	その他 (地震等大規模災害・豪雪等)	災害・被害等の状況や必要性を考慮し基本ブロック内での派遣応援とし、被害が集中、広範囲に及んだ場合はブロック間での相互支援を行う。